

令和6年度高千穂町立小・中学校の 全国学力・学習状況調査結果

4月18日に小学6年生と中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本町の子どもたちの結果をお知らせします。

学力調査の結果

[参加状況] 小学6年生 80人、中学3年生 75人

	小学6年生	中学3年生
国語	本町児童は、全国平均・県平均ともに上回っています。 「話すこと・聞くこと」の領域で全国・県平均を大きく上回っており、「書くこと」「読むこと」についても全国・県平均を上回っています。	本町生徒は、全国平均をやや上回り、県平均を大きく上回っています。 「書くこと」の領域においてはよい成績となっていますが、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」において全国平均を下回っています。
算数 数学	県平均を上回り、全国平均をやや下回っています。 「変化と図形」と「データの活用」は全国・県平均を上回っています。「数と計算」と「図形」が全国・県平均を下回っており、今後努力が必要です。	県平均をやや上回り、全国平均を下回っています。 「データの活用」で全国・県平均を上回っていますが、「数と式」と「関数」の力を習得することが今後の課題です。

学習状況調査の結果 【学力調査と同時に実施されたアンケートより】

	質問事項	小学6年生 (%)		中学3年生 (%)	
		本町	全国	本町	全国
生活	朝食を毎日食べている。	88.8	83.4	91.7	79.1
	学校に行くのは楽しいと思う。	87.6	84.8	91.7	83.8
	友達関係に満足している。	63.8	62.4	72.2	55.0
学習	平日、家で2時間勉強をしている（塾を含む）。	46.3	23.5	8.3	31.7
	ICT機器を活用して、分からないことを調べられる。	61.3	58.4	100.0	93.9

本年度の調査では、例年の国語、算数・数学の教科が実施されました。

本町の小学6年生の学力調査は、県平均を上回り、算数で全国平均をやや下回りました。中学3年生は、国語において全国・県平均を上回りましたが、数学が全国平均を下回り、「関数」や「数と式」の学力定着に向けた取組が課題となります。

学習状況調査の結果を見ますと、「平日、家で2時間以上勉強をしている」中学生の割合が、昨年度よりもかなり減少しました。学習時間が長いだけでは、学力向上にはつながりませんが、ある程度の時間確保も大切です。今後の取組に期待します。

「読書」は、読解力を向上させ、学力向上にもつながります。ご家庭におかれましても、SNSの利用やゲーム、通信機器などの使用に関する「きまりづくり」についての話し合いをもち、読書等に取り組む環境づくりや学習時間の確保へのご協力をよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊の そっちゃんちゅ! 高千穂

全国募集の広報イベントに参加してきました

秋も終わりに差し掛かり、厳しい寒さが襲い来る季節となってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？ 寂しい秋が嫌いな高千穂高校魅力向上コーディネーターの工藤です。

さて、今回は8月に高千穂高校全国募集の広報イベント「高校進学フェスin東京」に参加してきましたので、そのレポートをお届けしたいと思います。

高千穂高校は、全国からの生徒募集を円滑に進めるために「地域みらい留学」という制度に参加しています。

「地域みらい留学」は、全国130校を超える日本各地にある公立高校の中から、住んでいる都道府県の枠を超えて、自分の興味関心にあった高校を選択し、高校3年間をその地域で過ごす国内進学プログラムです。全国から生徒を募集している多くの公立高校がこの制度に加入しています。

今回私たちは、「地域みらい留学」が主催する「高校進学フェスin東京」というイベントに参加してきました。全国から80校の高校が集まり、ブースを出展して学校の説明を行う、合同説明会のようなイベントです。

東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合セ

ンターで8月24日(土)25日(日)の2日間にわたり開催され、延べ590組の中学生とその保護者が来場しました。



説明会の様子

参加してみて、私がまずうれしかったことは、生産流通科(農業科)がとても人気だったことです。私個人としても高千穂高校で活動する中で、生産流通科のことを知れば知るほど魅力を感じていたもので、それが中学生にも伝わったことに感動しました。

高千穂町の基幹産業である農業を支える人材を育成する学科が、全国募集によってさらに盛り上がる未来が見えてきたなと感じました。そして、次にうれしかったことは、予想よりも多くの方が高千穂高校のブースに足を運んでくださったことです。2日間で延べ38組の中学生が来場してくれました。1校あたりの平均ブース来訪数27.9組というイベントだったので、本当に多くの中学生に来ていただいたこととなります。来場してくれた中学生は、自然に囲まれた暮らしや、世界農業遺産に興味を持っている

方が多い印象でした。

実際にこのイベントを通してつながった中学生は、実際に高千穂高校の見学に訪れたり、その後の学校説明会に参加したりしてくれており、生徒募集の観点から非常に効果的なイベント出展となりました。

令和7年度の生徒募集はいよいよ大詰めの際に差し掛かってきましたが、最後まで気を抜かずに高千穂高校の魅力を全国に発信していきます。



高2留学で高千穂に来ていた子どもたちも集まってくれました



工藤 天裕
Kudo Takahiro

高千穂町岩戸出身。
令和4年4月に着任。
総合政策課所属。
高千穂高校魅力向上コーディネーターとして高千穂高校に常駐し活動中。
恐れているものは「BeReal」。